

各機関の取組状況及び新たな取組の提案

【 目 次 】

1) 関川・姫川流域の減災に係る取組概要	1
2) 今後の進め方について	20

1) 関川・姫川流域の減災に係る取組概要(様式2)

(様式2-取組概要)

様式作成機関：高田河川国道事務所

カテゴリー	ハード対策（河道掘削・急流河川対策・河道拡幅）
内 容	洪水を安全に流すため、及び危機管理型のハード対策の推進
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

(姫川) 洪水を安全に流すハード対策の令和6年度末時点の整備状況:堤防侵食対策



カテゴリー	ハード対策（河道掘削）
内 容	洪水を安全に流すため、河道掘削の推進
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

〈関川〉洪水を安全に流すハード対策の令和6年末時点の整備状況：河道掘削



カ テ ゴ リ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	有識者を招いた水災害教育の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所、国立大学法人上越教育大学

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校 4年生を対象に、出前講座「川の防災学習」を実施しました。

【実施概要】

- ・ 対 象：上越市立春日新田小学校4年生（2クラス 計56名）
- ・ 内 容：第1回（R6.10.03）：災害・防災に関する基礎学習
 - ・ 災害の種類、過去の水害、洪水が起こる理由などについて授業しました。
 - ・ 能登半島地震に伴い関川に遡上した津波の映像や浸水被害状況についても説明しました。
- 第2回（R6.10.16）：散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習
 - ・ 洪水時に危ない場所や避難場所の確認や、水害体験者からの聞き取りを行いました。
- 第3回（R6.10.30）：学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習
 - ・ 校区内にある洪水時に危ない場所や避難場所を子供たちに調べてもらいました。



第1回 基礎学習の様子



第2回 現地学習の様子



第3回 自己学習の様子

カ テ ゴ リ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	水防災等に関する出前講座の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

高田河川国道事務所では、出前講座を活用し、関川流域の小学校4校で106名に水防災等に関する説明を行いました。洪水ハザードマップの見方、避難に当たっての留意点、マイ・タイムラインの考え方について学びました。

【実施概要】

〈関川流域〉 ①R6.05.23 (木)	上越市立南本町小学校5年生	43名
②R6.06.12 (水)	妙高市立新井北小学校4年生	27名
③R6.09.19 (木)	上越市三郷小学校4年生	6名
④R6.10.07 (月)	上越市立南川小学校4年生	30名



上越市立南本町小学校での出前講座の様子



妙高市立新井北学校での出前講座の様子



上越市立三郷小学校での出前講座の様子

カ テ ゴ リ	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	重要水防箇所への合同巡視の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

新潟県と関係自治体、消防署、消防団とが合同で、出水時に注意が必要な重要水防箇所や樋門・樋管などの河川管理施設の確認を行うとともに、水防資材の備蓄状況の点検も実施しました。

【実施概要】

〈関川流域〉

- ・ 実施場所：①関川上流域（月岡防災ステーション、石塚水位局 等）
②関川下流域・保倉川（下箱井水防倉庫、塩屋排水樋管、春日新田水防倉庫 等）
- ・ 実施時期：①令和6年6月4日 参加者26名
②令和6年6月11日 参加者29名

〈姫川流域〉

- ・ 実施場所：姫川流域（西中緊急資材倉庫、大前水位観測所 等）
- ・ 実施時期：令和6年6月5日 参加者19名



関川 水防資材備蓄状況の点検、重要水防箇所の確認

姫川 水防資材備蓄状況の点検、重要水防箇所の確認

カ テ ゴ リ	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内 容	水防連絡会（令和6年度関川・姫川水防連絡会総会）、情報伝達訓練の実施
実施主体	国土交通省高田河川国道事務所

関川・姫川における水害の防止又は軽減のために、関川・姫川水防連絡会総会を開催し、水防に関する連絡及び調整を図りました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和6年4月26日(金)
- ・会 場：web会議開催
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会

洪水時の迅速な情報共有を図るため、各関係機関とともに情報伝達訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・開催日時：令和6年5月15日(水)
- ・会 場：高田河川国道事務所 災害対策室 ほか
- ・構成機関：関川・姫川水防連絡会



関川・姫川水防連絡会 総会状況



情報伝達訓練の状況

カテゴリー	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
内 容	水防実働訓練の実施
実施主体	北陸地方整備局、新潟県、上越市、糸魚川市、妙高市ほか
<p>令和6年5月19日、関川・姫川水防連絡会（高田河川国道事務所、新潟県上越地域振興局地域整備部、新潟県糸魚川地域振興局地域整備部、上越市、妙高市、糸魚川市、上越地域消防局、上越地域振興局農林振興部、中部電力(株)）による関川水防訓練を上越市鴨島地先にて実施しました。</p> <p>訓練には、総勢329人が参加し、水防工法の訓練を行いました。令和6年度は上越地域消防局、国土交通省、上越市による協同放水訓練や近隣住民による積み土のう工訓練等を実施しました。</p>	



●シート張り工－堤防法面への設置



●積み土のう工－土のう積み作業



●木流し工－堤防法面への設置



●月の輪工－土のう据付・土砂充填



●協同放水訓練



●市民積み土のう工－土のう据付

カテゴリー	水位・気象情報等の情報発信
内 容	気象情報の充実、予測精度の向上（線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み強化）
実施主体	新潟地方気象台

令和6年11月30日時点

令和6年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～



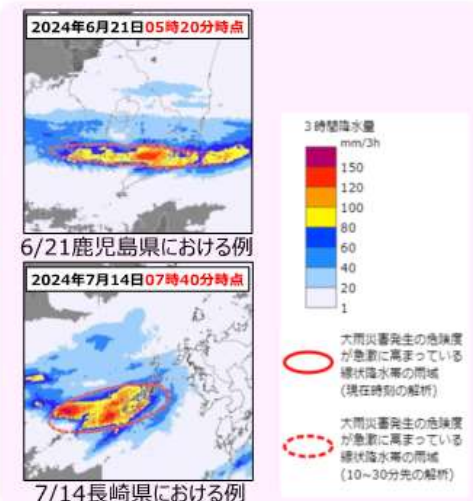
- 気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性がある程度高いことが予想された場合、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使ってその旨を呼びかけている。
- 線状降水帯の正確な予測は困難だが、予測技術の開発を進め、令和6年5月から府県単位での呼びかけを実施している。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したとき、実際に大雨となる可能性が高いことから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。
- 令和6年における線状降水帯の事例数は、19事例※1（令和6年11月30日時点 地方予報区単位）

※1 線状降水帯の事例の数え方は、線状降水帯の雨域は複数の県にまたがる場合もあるため、令和5年度以前と同様に地方予報区（全国を11ブロックに分けた地域）単位としている。

府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから検証)	令和6年 (11月30日時点)
線状降水帯発生時の呼びかけ「あり」 のうち 線状降水帯の発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	適中率（高いほうが良い） 約10% (81回中8回)
線状降水帯の発生「あり」 のうち 線状降水帯発生時の呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率（高いほうが良い） 約38% (21回中8回)

※2 線状降水帯の事例数と、府県単位での線状降水帯の発生「あり」の数は異なる場合がある。

- 線状降水帯発生時の呼びかけを行った81回中、線状降水帯の発生「あり」は8回であるが、それ以外にも、
・ 3時間降水量が100mm以上となったのは27回
あることから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。



線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。（令和5年5月25日以降）

- ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキル（洪水警報の危険度分布）において警戒基準を大きく超過した基準を超過

カテゴリ	平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップを更新
実施主体	上越市

令和6年8月に新潟県が公表した新たな想定最大規模による洪水浸水想定に基づき、上越市洪水ハザードマップを更新するもの。更新に伴い、対象地域で住民説明会を実施した。

洪水ハザードマップは、市内全戸、要配慮者利用施設、関係機関等へ配布する。

【洪水ハザードマップ更新概要】

○対象河川：令和3年8月に掲載した25河川に加え、新たに43河川の洪水浸水想定を追加。

※追加河川

- ・1級河川関川水系：保倉川、飯田川等25河川
- ・2級河川柿崎川水系：柿崎川、米山川等9河川
- ・2級河川桑取川水系：桑取川等4河川
- ・2級河川名立川水系：坪山川等5河川

○配布予定時期：令和7年3月末

○配布予定先：① 市内全戸：約75,000世帯
 ② 要配慮者利用施設：約600施設
 ③ 関係機関等：約10機関

【住民説明会実施概要】

○対象：谷浜・桑取区、柿崎区、大島区、
 浦川原区、安塚区、板倉区



柿崎区での説明会の様子

カ テ ゴ リ	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
内 容	防災リーダー研修の開催
実施主体	糸魚川市

令和6年11月24日、ビーチホールまがたまを会場に、令和6年度防災リーダー研修を開催し、自主防災組織による避難所設置・運営について研修を行いました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和6年11月24日（日）
- ・ 参加者：自主防災組織・自治会の役員、防災士、消防団員等 34地区53名（対面形式）
- ・ 内 容：公益社団法人 中越防災安全推進機構による
「避難所生活の運営を学ぶ」についての講演
グループワーク 避難所運営に関するワークショップ自主避難所の開設について
出席者による情報交換



(公社)中越防災安全機構による講演



グループワークの様子



グループワークの様子

カテゴリー	実践的な研修・訓練の実施
内 容	水害などにより避難所を開設する場合に備え、避難所運営研修を実施
実施主体	妙高市

水害などにより指定避難所を開設運営する場合に備え、自主防災組織の役員や防災士、施設管理者及び開設担当の市職員などを対象に「避難所運営研修」を市内6箇所の避難所で開催したほか、全地域を対象とした集合型研修も実施し（計4回）、約500名の方が参加しました。

【避難所運営研修の概要】

- ・期 間：令和6年8月～11月
- ・会 場：新井地域2箇所・妙高高原地域2箇所・妙高地域2箇所
- ・内 容：避難所を会場に役割分担や避難者受付方法、運営マニュアルの確認。



避難所運営研修の様子



避難所運営研修（集合型）の様子

カテゴリー	円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項の実施
内 容	河川内の伐木および河道掘削
実施主体	新潟県 上越地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流下させるため、河川内の伐木と河道掘削を実施しています。

【R6実施河川】

- ・河床掘削、伐木 関川ほか8河川で実施。引き続き実施予定。



一級河川 櫛池川（河床掘削）



一級河川 関川（伐木）

カテゴリー	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内 容	想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
実施主体	上越地域振興局地域整備部

- R3水防法改正⇒ 洪水浸水想定区域の指定対象を「周辺に住宅等の防護対象がある河川」まで拡大し、水害リスク情報空白域を解消



✓ 関川水系においても、簡易解析手法を活用し
新たに36河川※で洪水浸水想定区域図を作成 ⇒ 公表済み

※関川・保倉川・飯田川の上流未指定区間を含む。

カテゴリー	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内 容	マイ・タイムライン作成の普及促進・支援
実施主体	新潟県上越地域振興局 地域整備部

上越地域振興局地域整備部では、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し主体的な避難行動により人命を守るため、小・中・高校生を対象としたマイ・タイムライン作成支援『新潟県マイ・タイムライン教室』の取組を実施しています。

【令和6年度の実施状況】

- 令和6年 6月18日(火) 10:40～12:30 (3,4限) 妙高市立妙高中学校 3年生 32名
- 令和6年 7月12日(金) 10:40～12:30 (3,4限) 上越市立中郷中学校 2年生 24名
- 令和6年 7月18日(木) 13:30～15:20 (5,6限) 上越市立八千浦中学校 全校生徒 71名
- 令和6年 11月14日(木) 13:40～15:25 (5,6限) 上越市立南本町小学校 5年生 40名
- 令和6年 12月17日(火) 9:15～11:05 (2,3限) 上越市立稲田小学校 4年生 47名
- 令和7年 1月17日(金) 13:45～15:35 (5,6限) 上越市立東頸中学校 全校生徒 96名

マイタイムライン教室の様子

(妙高中学校)



ハザードマップの見方や警戒レベルの意味などについて学習

グループワークで避難前の準備、避難時の注意点、災害から身を守るために自分たちができることを話し合い、発表



2時間の学習成果を踏まえ、各自が「マイ・タイムライン」を仕上げた

カ テ ゴ リ	河道維持
内 容	洪水を安全に流すための対策の推進
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

流下能力を確保し、洪水を安全に流すため、河川内掘削と伐木を実施しました。

【実施河川】

- 河床掘削工事 一級河川姫川水系 濁澄川（糸魚川市大野）
- 伐木 委託 一級河川姫川水系 根知川（糸魚川市根小屋）



濁澄川着手前（2024年4月撮影）



濁澄川竣工（2024年5月撮影）

カテゴリー	情報伝達、避難計画等に関する取組の実施
内 容	マイ・タイムライン作成の普及促進・支援
実施主体	新潟県糸魚川地域振興局 地域整備部

糸魚川地域振興局地域整備部では、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し、主体的な避難行動により人命を守るため、小学生を対象としたマイ・タイムライン作成支援『新潟県マイ・タイムライン教室』の取組を実施しています。

【令和6年度実施概要】

- ・日 時：令和6年6月28日
- ・対 象：糸魚川市立糸魚川小学校 4年生 50名

※開催協力：上越地域振興局地域整備部



カテゴリー	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施
内 容	出前講座を実施
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

糸魚川地域振興局地域整備部では、家庭や地域の防災意識の向上を図るため、学校教育を通じて、これまでの災害の歴史や災害への備え、災害時に命を守る行動を解説する「出前講座」を、市立西海小学校において実施しました。

【令和6年度実施概要】

- ・ 日 時：令和6年11月19日
- ・ 対 象：糸魚川市立西海小学校 4年生 15名
- ・ 内 容：座学「自然災害から命を守る」、液状化などの実験



(様式2-取組概要)

様式作成機関：新潟県糸魚川地域振興局地域整備部

カテゴリー	防災ステーション等の検討・整備
内 容	備蓄ブロックヤードの整備
実施主体	新潟県 糸魚川地域振興局 地域整備部

水防活動や災害時に必要となるコンクリートブロックのヤードを整備し、コンクリートブロック備蓄した。(糸魚川市梶屋敷地内)



備蓄ブロックヤード

(2024年6月撮影)



R7.3現在 503個(2t型)

2) 今後の進め方

今後の進め方

- 幹事会及び協議会は毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認するとともに、実施した取組について習熟、改善を図るなど、継続的なフォローアップを毎年行う。
- 令和8年度からの「今後5年間の関川・姫川流域の減災に係る取組方針」の改定に向けて、フォローアップ。

